

令和 8 年度

R 8 側溝整備工事（市道 2 0 9 3 号線ほか）
工 事 設 計 書

都市整備部土木課

令和 8 年度	工事番号			課長	係長	浄書校合	設計		
工事名	R 8 側溝整備工事（市道 2 0 9 3 号線ほか）								
路線河川名	市道 2 0 9 3 号線ほか				工事場所	木更津市岩根三丁目 1 0 番地先			
予算科目									
設計金額									
工事価格									
消費税及び地方消費税相当額									
設計説明	工事延長 L = 7 5 . 1 m 消音型側溝布設（2 5 0 × 5 0 0 × 2 0 0 0） L = 4 2 . 1 m 消音型側溝柵布設（2 5 0 x 5 0 0 用） N = 1 基 既設側溝清掃（U 2 4 0） L = 3 2 . 0 m								
工事施行方法	請 負	工事期間	令和 9 年 2 月 1 9 日 限り						

本 工 事 内 訳 書

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費		式	1			
道路改良		式	1			
舗装工		式	1			
舗装打換え工		式	1			
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚 :50mm	m	59			第 1 号内訳書参照
汚泥運搬処理	(株)ダイセキ L=6.3km	式	1			第 2 号内訳書参照
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚 :5cm	m2	31			第 3 号内訳書参照
殻運搬	舗装版破碎	m3	2			第 4 号内訳書参照
殻処分	アスファルト殻	t	4			第 5 号内訳書参照
下層路盤	RC-40 仕上り厚:200mm	m2	24			第 6 号内訳書参照
上層路盤工	MS-25 仕上り厚:150mm	m2	24			第 7 号内訳書参照

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスファルト混合物 (13) 舗装厚50mm	m2	24			第 8 号内訳書参照
排水構造物工		式	1			
作業土工		式	1			
床掘り	土砂	m3	20			第 9 号内訳書参照
埋戻し	土砂	m3	2			第 10 号内訳書参照
土砂等運搬	土砂(岩塊・玉石混り土含む)	m3	18			第 11 号内訳書参照
残土処分	千葉県残土条例	m3	23			第 12 号内訳書参照
側溝工		式	1			
U型側溝	U型側溝規格:消音型側溝 (路側部) 250×500×2000	m	36			第 13 号内訳書参照
U型側溝	U型側溝規格:消音型側溝 (横断部) 250×500×2000	m	6			第 14 号内訳書参照
U型側溝柵	U型側溝規格:消音型側溝 (横断部) 250×500×1000	基	1			第 15 号内訳書参照

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
側溝蓋	Co蓋	枚	76			第 16 号内訳書参照
側溝蓋	Gr蓋	枚	9			第 17 号内訳書参照
調整コンクリート	1:3 表面仕上げ含む	m3	0.3			第 18 号内訳書参照
間詰めコンクリート		m3	0.2			第 19 号内訳書参照
排水管等取付		式	1			第 20 号内訳書参照
側溝清掃工	U240 L=32.0m	式	1			第 21 号内訳書参照
構造物取壊し工		式	1			
構造物取壊し工		式	1			
コンクリート構造物取壊し	有筋構造物 機械施工	m3	2			第 22 号内訳書参照
運搬処理工		式	1			
殻運搬積込	コンクリート殻(有筋二次)	m3	2			第 23 号内訳書参照

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
殻処分	コンクリート殻(有筋二次)	t	5			第 24 号内訳書参照
仮設工		式	1			
水替工		式	1			
ポンプ排水		式	1			第 25 号内訳書参照
交通管理工		式	1			
交通誘導警備員		人日	18			第 26 号内訳書参照
直接工事費計		式	1			
共通仮設		式	1			
共通仮設費(積上分)		式	1			
技術管理費		式	1			
土質等試験費		式	1			第 27 号内訳書参照

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
試料採取		式	1			第 28 号内訳書参照
共通仮設費(率計上)		式	1			
共通仮設費(率計上)		式	1			
共通仮設費(率計上)		式	1			
純工事費		式	1			
現場管理費		式	1			
現場発生品運搬		式	1			
現場発生品運搬		式	1			
現場発生品運搬		式	1			
現場発生品積込み・荷卸し		式	1			第 29 号内訳書参照
現場発生品運搬		式	1			第 30 号内訳書参照

工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
工事原価		式	1			
一般管理費等		式	1			
工事価格		式	1			
消費税及び地方消費税相当額		式	1			
工事費計		式	1			

第 1 号 内訳書

舗装版切断

アスファルト舗装版 舗装厚:50mm

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
アスファルト舗装版切断費 舗装版切断	As版切断	m	1			第 1 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 2 号 内訳書

汚泥運搬処理

(株)ダイセキ L=6.3km

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
汚泥処分費	ドラム缶	kg	100			
現場発生品及び支給品運搬		t	0.1			第 2 号単価表参照
現場発生品及び支給品積込・荷卸		t	0.1			第 3 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 3 号 内訳書

舗装版破碎

アスファルト舗装版 舗装版厚:5cm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版破碎積込（小規模土工）		m2	1			第 4 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 4 号 内訳書

殻運搬

舗装版破碎

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬費 殻運搬		m3	1			第 5 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 5 号 内訳書

殻処分

アスファルト殻

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 処分費 (t)		t	1			第 6 号単価表参照
計	1 t 当り					

第 6 号 内訳書

下層路盤

RC-40 仕上り厚：200mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤		m2	1			第 7 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 7 号 内訳書

上層路盤工

MS-25

仕上り厚:150mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
上層路盤		m2	1			第 8 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 8 号 内訳書

表層(車道・路肩部)

再生密粒度アスファルト混合物(13)
舗装厚50mm

1 m2 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
施工費 表層 (車道・路肩部)		m2	1			第 9 号単価表参照
計	1 m2 当り					

第 9 号 内訳書

床掘り

土砂

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削費 床掘り		m3	1			第 10 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 10 号 内訳書

埋戻し

土砂

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
埋戻し費 埋戻し		m3	1			第 11 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 11 号 内訳書

土砂等運搬

土砂(岩塊・玉石混り土含む)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運搬費 土砂等運搬		m3	1			第 12 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 12 号 内訳書

残土処分

千葉県残土条例

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
残土処分費		m3	1			
計	1 m3 当り					

第 13 号 内訳書

U型側溝

U型側溝規格:消音型側溝 (路側部)
250×500×2000

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝設置費 U型側溝		m	1			第 13 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 14 号 内訳書

U型側溝

U型側溝規格:消音型側溝 (横断部)
250×500×2000

1 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝設置費 U型側溝		m	1			第 13 号単価表参照
コンクリート		m3	0.04			第 14 号単価表参照
型枠		m2	0.2			第 15 号単価表参照
計	1 m 当り					

第 15 号 内訳書

U型側溝柵

U型側溝規格:消音型側溝 (横断部)
250×500×1000

1 基 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝設置費 U型側溝		m	1			第 16 号単価表参照
コンクリート		m ³	0.03			第 14 号単価表参照
蓋版		枚	1			第 17 号単価表参照
計	1 基 当り					

第 16 号 内訳書

側溝蓋

Co蓋

1 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版設置費 蓋版		枚	1			第 18 号単価表参照
計	1 枚 当り					

第 17 号 内訳書

側溝蓋

Gr蓋

1 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版設置費 蓋版		枚	1			第 19 号単価表参照
計	1 枚 当り					

第 18 号 内訳書

調整コンクリート

1:3
表面仕上げ含む

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
モルタル		m3	1			第 20 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 19 号 内訳書

間詰めコンクリート

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
コンクリート		m3	1			第 14 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 20 号 内訳書

排水管等取付

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
排水管等取付		箇所	2			
計	1 式 当り					

第 21 号 内訳書

側溝清掃工

U240
L=32.0m

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
側溝清掃（人力清掃工）		m	32			第 21 号単価表参照
土砂等運搬		m ³	2			第 22 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 22 号 内訳書

コンクリート構造物取壊し

有筋構造物 機械施工

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
取壊し費 構造物とりこわし		m3	1			第 23 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 23 号 内訳書

殻運搬積込

コンクリート殻(有筋二次)

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
殻運搬費 殻運搬		m3	1			第 24 号単価表参照
計	1 m3 当り					

第 24 号 内訳書

殻処分

コンクリート殻(有筋二次)

1 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 処分費 (t)		t	1			第 6 号単価表参照
計	1 t 当り					

第 25 号 内訳書

ポンプ排水

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
ポンプ運転工		日				第 25 号単価表参照
ポンプ据付・撤去工		現場	1			第 26 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 26 号 内訳書

交通誘導警備員

1 人日 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員費 交通誘導警備員 B		人日	1			第 27 号単価表参照
計	1 人日 当り					

第 27 号 内訳書

土質等試験費

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土質等試験費（一式入力）	残土処分 千葉県残土条例	式	1			第 28 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 28 号 内訳書

試料採取

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断		m	8			第 29 号単価表参照
舗装版破碎積込（小規模土工）		m2	1			第 4 号単価表参照
床掘り		m3	0.4			第 10 号単価表参照
上層路盤		m2	1			第 30 号単価表参照
表層（車道・路肩部）		m2	1			第 31 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 29 号 内訳書

現場発生品積込み・荷卸し

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品積込・荷卸		t	0.3			第 3 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 30 号 内訳書

現場発生品運搬

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
現場発生品及び支給品運搬		t	0.3			第 2 号単価表参照
計	1 式 当り					

第 1 号 単価表

舗装版切断

As版切断

1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ〔バキューム式 (超低騒音型)〕	湿式 切削深20cm級 フレート径φ56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径18インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

※施工パッケージ単価

第 1 号 付 属 1

SCB430510				
J01	舗装版種別 = 1	アスファルト舗装版	J02	アスファルト舗装版厚 = 1
J05	費用の内訳 = 1	全ての費用		15cm以下

第 2 号 単価表

現場発生品及び支給品運搬

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
トラック [クレーン装置付]	ベーストラック 2 t 積 吊能力 2. 9 t	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 t 当り					

SCB010410
J01 トラック機種 = 1 クレーン装置付2t積、吊能力2.9t
J04 片道運搬距離 (km) DID有 = 4 7.0km以下

J02 DID区間の有無 = 2 有り

第 3 号 単価表

現場発生品及び支給品積込・荷卸

1 t 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
トラック [クレーン装置付]	ベーストラック 2 t 積 吊能力 2. 9 t	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 t 当り					

SCB010420
J01 トラック機種 = 1 クレーン装置付2t積、吊能力2.9t

第 4 号 単価表 舗装版破碎積込（小規模土工） 1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ） [標準]	排出ガス対策型（第2次基準） 山積0.13m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m2 当り					

SCB210720
J01 費用の内訳 = 1 全ての費用

第 5 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 3

J03 DID区間の有無 = 2

J13 費用の内訳 = 1

舗装版破碎

有り

全ての費用

J02 積込工法区分 = 4

J10 運搬距離 (km) (DID区間有) = 9 6.5km以下

機械積込 (小規模土工)

第 6 号 単価表

処分費 (t)

100 t 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費		t	100			
計	100 t 当り					
	1 t 当り					

SWB020052

第 7 号 単価表 下層路盤 1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)〔後方超小 旋回型〕	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ (舗装用) 〔搭乗・コ ンパインド式〕	運転質量 3 ～ 4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	%	Z1			

※施工パッケージ単価

第 7 号 付 属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410031

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 200

J03 材料 = 6

再生クラッシュラン RC-40

J02 施工区分 = 1

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 8 号 単価表

上層路盤

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ(クローラ型)[後方超小 旋回型]	超低騒音型 排ガス型(第3次) 山積0.09m3	%	K1			
振動ローラ (舗装用) [搭乗・コ ンパインド式]	運転質量 3 ～ 4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
運転手 (特殊)		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
普通作業員		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
高炉スラグ	粒調 2 5 - 0	%	Z1			

※施工パッケージ単価

第 8 号 付 属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z2			
	1 m2 当り					

SCB410041

J01 全仕上り厚（実数入力）[mm] = 150

J02 施工区分 = 1

J03 材料 = 7

路盤材（各種）

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 9 号 単価表

表層（車道・路肩部）

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
アスファルト乳剤	P K－3 プライムコート用	%	Z2			

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
ガソリン	レギュラー	%	Z3			
軽油		%	Z4			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生密粒度アスコン（1 3）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 2

プライムコート PK-3

第 10 号 単価表 床掘り 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210030

J01 土質 = 1

J05 費用の内訳 = 1

土砂
全ての費用

J02 施工方法 = 5

上記以外（小規模）

第 11 号 単価表 埋戻し 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）〔後方超小旋回型〕	排ガス型（第2次） 山積0. 2 8 m 3	%	K1			
ランマ	質量6 0～8 0 k g	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 11 号 付属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m3 当り					

SCB210410

J01 施工方法 = 5

J04 費用の内訳 = 1

上記以外（小規模）
全ての費用

J02 土質 = 1

土砂

第 12 号 単価表

土砂等運搬

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	4 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110

J01 土砂等発生現場 = 2

J03 土質 = 1

J14 運搬距離 (km) (DID区間有) = 12 17.0km以下

小規模

土砂 (岩塊・玉石混り土含む)

J02 積込機種・規格 = 5

J04 DID区間の有無 = 2

バックホウ山積0.28m3 (平積0.2m3)

有り

第 13 号 単価表

U型側溝

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
消音型側溝（縦断タイプ）	250 x 500 x 2000	本	5			
U型側溝 昼間	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 制約無	m	10			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	0.492			0.41*1.2
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821410

J01 作業区分 = 1 据付け
J03 夜間作業の有無 = 1 無し
J06 U型側溝の規格・仕様 = 2 L=2000mm
J08 時間的制約の有無 = 1 無し
J10 基礎碎石施工の有無 = 1 有り
J12 基礎碎石設計数量（実数入力）[m3/10m] = 0.41

J02 L=1000・L=4000の使用の有無 = 1 無し
J04 U型側溝の種類 = 4 側溝（各種）
J07 U型側溝の質量 = 3 1000kg/個以下
J09 施工箇所における補正 = 1 無し
J11 基礎碎石の種類 = 5 再生クラッシャー 40～0

第 14 号 単価表 コンクリート 1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	1 8－8－2 5 （2 0） 高炉 W/C60%以下	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 1
J03 コンクリート規格 = 41
J07 現場内小運搬の有無 = 2

無筋・鉄筋構造物
18-8-25（高炉）
無し

J02 打設工法 = 4
J05 養生工の種類 = 2
J13 費用の内訳 = 1

人力打設
一般養生
全ての費用

第 15 号 単価表 型枠 1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
	1 m2 当り					

SCB240210
J01 型枠の種類 = 1

一般型枠

J02 構造物の種類 = 5

均しコンクリート

第 16 号 単価表

U型側溝

10 m 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
U型側溝 昼間	L 2 0 0 0 1 0 0 0 k g 以下 制約無	m	10			
消音型側溝柵	250 x 500 x 1000	本	10			
再生クラッシャーラン	R C - 4 0	m3	0.492			0.41*1.2
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	10 m 当り					
	1 m 当り					

SWB821410

J01 作業区分 = 1 据付け
J03 夜間作業の有無 = 1 無し
J06 U型側溝の規格・仕様 = 2 L=2000mm
J08 時間的制約の有無 = 1 無し
J10 基礎碎石施工の有無 = 1 有り
J12 基礎碎石設計数量（実数入力）[m3/10m] = 0.41

J02 L=1000・L=4000の使用の有無 = 1 無し
J04 U型側溝の種類 = 4 側溝（各種）
J07 U型側溝の質量 = 3 1000kg/個以下
J09 施工箇所における補正 = 1 無し
J11 基礎碎石の種類 = 5 再生クラッシャー 40～0

第 17 号 単価表

蓋版

100 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間	4 0 k g 以下 制約無	枚	100			
消音型側溝枈Gr 蓋	250用 T-25 並目	個	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB821430

J01 作業区分 = 1

J03 蓋版の種類 = 5

J06 時間的制約の有無 = 1

据付け

蓋版（各種）

無し

J02 夜間作業の有無 = 1

J05 規格・仕様区分 = 1

J07 施工箇所における補正 = 1

無し

40kg/枚以下

無し

第 18 号 単価表

蓋版

100 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間	4 0 k g 以下 制約無	枚	100			
消音型側溝Co蓋（縦断タイプ）	250用 T-25	個	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB821430

J01 作業区分 = 1

J03 蓋版の種類 = 5

J06 時間的制約の有無 = 1

据付け

蓋版（各種）

無し

J02 夜間作業の有無 = 1

J05 規格・仕様区分 = 1

J07 施工箇所における補正 = 1

無し

40kg/枚以下

無し

第 19 号 単価表

蓋版

100 枚 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
蓋版コンクリート・鋼製 昼間	4 0 k g 以下 制約無	枚	100			
消音型側溝Gr蓋	250用 T-25	個	100			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	100 枚 当り					
	1 枚 当り					

SWB821430

J01 作業区分 = 1

J03 蓋版の種類 = 5

J06 時間的制約の有無 = 1

据付け

蓋版（各種）

無し

J02 夜間作業の有無 = 1

J05 規格・仕様区分 = 1

J07 施工箇所における補正 = 1

無し

40kg/枚以下

無し

※施工パッケージ単価

第 20 号 単価表

モルタル

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
モルタル	1 : 3	%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB240010

J01 構造物種別 = 2

J03 コンクリート規格 = 46

J07 現場内小運搬の有無 = 2

小型構造物

各種

無し

J02 打設工法 = 4

J05 養生工の種類 = 2

J13 費用の内訳 = 1

人力打設

一般養生

版元主
全ての費用

第 21 号 単価表 側溝清掃（人力清掃工） 1 m 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
	1 m 当り					

SCB433510
J01 側溝蓋規格 = 2 有蓋 コンクリート蓋

第 22 号 単価表

土砂等運搬

1 m3 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	2 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB210110
J01 土砂等発生現場 = 3 現場制約あり
J03 土質 = 1 土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J18 運搬距離 (km) (DID区間有) = 13 23.0km以下

J02 積込機種・規格 = 7 人力
J04 DID区間の有無 = 2 有り

第 23 号 単価表

構造物とりこわし

1 m3 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	昼間 機械施工 制約無	m3	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 m3 当り					

SWB824010

J01 構造物区分 = 2 鉄筋構造物
 J03 時間的制約の有無 = 1 無し
 J05 低騒音・低振動対策 = 1 必要

J02 工法区分 = 1 機械施工
 J04 夜間作業の有無 = 1 無し

第 24 号 単価表

殻運搬

1 m3 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]	10 t 積級 タイヤ損耗費及び補修費(良好)含	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手 (一般)		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3 当り					

SCB227010

J01 殻発生作業 = 2

J03 DID区間の有無 = 2

J13 費用の内訳 = 1

コンクリート(鉄筋) 構造物とりこわし

有り

全ての費用

J02 積込工法区分 = 1

J04 運搬距離 (km) (DID区間有無) = 3 5.7km以下

機械積込

第 25 号 単価表

ポンプ運転工

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特殊作業員		人				
普通作業員		人				
工事用水中モータポンプ [普通型]	潜水ポンプ 口径φ 5 0 m m 全揚程 5 m	日				
発動発電機 [ガソリンエンジン駆動]	3 k V A	日				
諸雑費		式				
計	1 日 当り					

SDGD10670

J01 排水方法・動力源 = 2

作業時排水 発動発電機

J02 ポンプ台数（実数入力）[台] = 1

第 26 号 単価表

ポンプ据付・撤去工

1 現場 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		人				
計	1 現場 当り					

SDGD10680

第 27 号 単価表

交通誘導警備員 B

1 人日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員 B		人				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1 人日 当り					

SWB010212

第 28 号 単価表

土質等試験費（一式入力）

残土処分 千葉県残土条例

1 式 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土質等試験費		式	1			
計	1 式 当り					

SWB010370

J01 土質等試験費（千円）[千円] =

第 29 号 単価表 舗装版切断 1 m 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
コンクリートカッタ〔バキューム式 (超低騒音型)〕	湿式 切削深20cm級 フレート径 φ 56cm	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
普通作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
コンクリートカッタ (ブレード)	径 1 8 インチ	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			
	1 m 当り					

SCB430510			
J01 舗装版種別 = 1	アスファルト舗装版	J02 アスファルト舗装版厚 = 1	15cm以下
J05 費用の内訳 = 1	全ての費用		

第 30 号 単価表

上層路盤

1 m2 当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
小型バックホウ（クローラ）〔標準〕	山積0.11m3（平積0.08m3）	%	K1			
振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式〕	運転質量 3 ～ 4 t	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
路盤材		%	Z1			
軽油		%	Z2			

※施工パッケージ単価

第 30 号 付 属 1

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
	1 m2 当 り					

SCB410041

J01 全仕上り厚（実数入力） [mm] = 150

J02 施工区分 = 1

J03 材料 = 7

路盤材（各種）

J04 費用の内訳 = 1

1層施工
全ての費用

第 31 号 単価表

表層（車道・路肩部）

1 m2 当り

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕	運転質量0.5～0.6 t	%	K1			
振動コンパクタ〔前進型〕	機械質量40～60 kg	%	K2			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
再生アスファルト混合物	再生密粒度アスコン（13）	%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

名 称	規 格	単 位	構 成 比	東 京 単 価	積 算 単 価	摘 要
軽油		%	Z3			
	1 m2 当り					

SCB410260

J01 平均幅員 = 1

J05 材料 = 11

J07 費用の内訳 = 1

1. 4m未満（仕上厚50mm以下）

再生密粒度アスコン（1 3）

全ての費用

J02 1層当平均仕上厚 50mm以下[mm] = 50

J06 瀝青材料種類 = 5

無し

R8側溝整備工事(市道2093号線ほか)

市道2093号線ほか / 木更津市本郷三丁目10番地先

数 量 計 算 書

木更津市 都市整備部 土木課

数量総括表

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	設計数量	数量	備考
	土工							
		舗装工						
			舗装版切断工	AS t=50mm	m	59	58.5	
			汚泥運搬処理	L=6.3km	kg	100	99.5	
			AS舗装版破碎	t=50mm	m2	31	31.1	
			AS舗装殻運搬工	L=5.2km	m3	2	1.6	
			AS舗装殻処分工		t	4	3.8	
			下層路盤工	RC-40 t=200	m2	24	24.4	
			上層路盤工	MS-25 t=150	m2	24	24.4	
			表層工	再生密粒度AS t=50	m2	24	24.4	
	排水構造物工							
		作業土工						
			床掘	小規模土工	m3	20	20.1	
			埋戻し	発生土	m3	2	2.2	
			発生土運搬工	L=15.8km	m3	18	17.7	
			発生土処分工		m3	23	23.2	
		側溝工						
			消音型側溝	T-25 250x500	m	36	36.1	路側部
			消音型側溝	T-25 250x500	m	6	6.0	道路横断部
			消音型側溝樹	T-25 250x500	基	1	1	
			Co側溝蓋	T-25 250用	枚	76	76	
			グレーチング蓋	T-25 250用	枚	9	9	
			調整井外工	1:3	m3	0.3	0.26	
			間詰コンクリート	18-8-25BB	m3	0.2	0.2	
			排水管取付		箇所	2	2	
	構造物取壊し工							
		構造物取壊し工						
			既設側溝等取壊し	有筋 機械施工	m3	2	1.8	
			Co殻運搬工	有筋 L=5.2km	m3	2	1.8	
			Co殻処分工		t	5	4.5	

レベル1 工事区分	レベル2 工種	レベル3 種別	レベル4 細別	レベル5 規格	単位	設計数量	数量	備考
	側溝清掃工							
		側溝清掃						
			側溝清掃	U-240	m	32	32.0	
	現場発生品運搬							
		現場発生品運搬						
			現場発生品運搬	L=5.6km	t	0.3	0.3	
	仮設工							
		水替え工						
			水替え工		式	1	1	
		交通管理工						
			交通誘導警備員B		人日	18	18	

数量計算書

名 称	規 格	算 式	単位	数 量	備考
側溝整備工事		【No.0～No.4+1.1】			
舗装工					
舗装版切断工	As舗装	$L = 0.5 + 27.5 + 0.5$ $+ 3.8 + 15.9 + 0.5$ $+ 3.5 + 6.3 = 58.5 \text{ m}$	m	58.5	t=5cm
汚泥運搬処理	L=6.3km	$W = 58.50 \times 0.0017 \times 1000 = 99.5 \text{ kg}$ (株ダ〃代社 袖ヶ浦市南袖23-8 L=6.3kmに運搬)	kg	99.5	
舗装版破砕	AS	$A = 27.5 \times 0.5 + 15.9 \times 0.86$ $+ (4.0 + 3.8) / 2 \times 0.5$ $+ 1.1 \times 1.4 / 2$ $+ (3.5 + 6.3) \times 0.1$ $= 31.1 \text{ m}^2$	m ²	31.1	t=5cm
As舗装殻運搬	L=5.2km	$V = 31.1 \times 0.05 = 1.60 \text{ m}^3$ (有渡辺産業 袖ヶ浦市神納1802-1 L=5.2kmに運搬)	m ³	1.6	
As舗装殻処分		$W = 1.60 \times 2.35 = 3.8 \text{ t}$	t	3.8	
下層路盤工	RC-40	$A = (27.5 + 15.9) \times 0.5$ $+ (4.0 + 3.8) / 2 \times 0.5$ $+ 1.1 \times 1.4 / 2$ $= 24.4 \text{ m}^2$	m ²	24.4	t=5cm
上層路盤工	MS-25	$A = 24.4 \text{ m}^2$	m ²	24.4	t=150mm
表層工	再生密粒度AS13mm	$A = 24.4 \text{ m}^2$	m ²	24.4	t=50mm
排水構造物工					
作業土工					
床掘	小規模	【No.0～No.2+0.5】			
		$V1 = 0.37 \times 20.5 = 7.59 \text{ m}^3$			
		【No.2+0.5～+7.5m】樹部除く			
		$V2 = 0.65 \times 6.0 = 3.90 \text{ m}^3$			
		【No.2+4.5～No.2+5.5】樹部			
		$V3 = 0.76 \times 1.0 = 0.76 \text{ m}^3$			
		【No.2+5.0～No.4+1.1】			
		$V4 = 0.50 \times 15.6 = 7.80 \text{ m}^3$			
		【合計】			
		$V = 7.59 + 3.90 + 0.76 + 7.80$ $= 20.1 \text{ m}^3$	m ³	20.1	

名 称	規 格	算 式	単位	数 量	備考
埋戻し	発生土	【No.0～No.2+0.5】 $V1 = 0.03 \times 20.5 = 0.62 \text{ m}^3$			
		【No.2+0.5～+7.5m】樹部除く $V2 = 0.08 \times 6.0 = 0.48 \text{ m}^3$			
		【No.2+4.5～No.2+5.5】樹部 $V3 = 0.15 \times 1.0 = 0.15 \text{ m}^3$			
		【No.2+5.0～No.4+1.1】 $V4 = 0.06 \times 15.6 = 0.94 \text{ m}^3$			
		【合計】 $V = 0.62 + 0.48 + 0.15 + 0.94$ $= 2.2 \text{ m}^3$	m3	2.2	
発生土運搬	L=15.8km	$V = 20.1 - 2.2 / 0.9$ $= 17.7 \text{ m}^3$	m3	17.7	
		(株KCM 袖ヶ浦市川原井字南用瀬286番ほか L=15.8kmに運搬) (側溝清掃分)			
発生土処分		$V = 17.7 \times 1.2 + 2.0 = 23.2 \text{ m}^3$	m3	23.2	
側溝工					
消音型側溝	250x500	$L = 20.5 + 15.6 = 36.1 \text{ m}$	m	36.1	路側部
消音型側溝	250x500	$L = 4.0 + 2.0 = 6.0 \text{ m}$	m	6.0	横断部
		(基礎コンクリート) $V = 6.0 \times 0.41 \times 0.1 = 0.25 \text{ m}^3$			
		(型枠) $V = 6.0 \times 0.1 \times 2.0 = 1.20 \text{ m}^2$			
消音型側溝柵	250x500用	$N = 1 \text{ 基}$	基	1	
		(底版コンクリート) $V = 0.8 \times 0.25 \times 0.15 = 0.03 \text{ m}^3$			
Co側溝蓋	T-25 250用	$N = 42.1 \times 18 / 10 = 76 \text{ 枚}$	枚	76	
グレーチング蓋	T-25 250用	$N = 42.1 \times 2 / 10 = 9 \text{ 枚}$	枚	9	
調整珪砂工	1:3	【No.0～No.0+3.0】 $L = 3.0 \text{ m}$ $V1 = 3.0 \times 0.022 / 2 \times 0.25$ $= 0.01 \text{ m}^3$ 【No.3～No.4+1.1】 $L = 11.1 \text{ m}$ $V2 = 11.1 \times 0.183 / 2 \times 0.25$ $= 0.25 \text{ m}^3$			
		$V = 0.01 + 0.25 = 0.26 \text{ m}^3$	m3	0.26	
間詰めコンクリート	18-8-25(BB)	$V = (3.5 + 6.3) \times 0.10 \times 0.10$ $+ (15.9 - 1.4) \times 0.05 \times 0.10$ $= 0.2 \text{ m}^3$	m3	0.2	

名 称	規 格	算 式	単位	数 量	備考
排水管取付		$N = 2$ 箇所	箇所	2	
構造物取壊し工					
既設側溝等取壊し	有筋	$U-240 \quad L = 27.5 \quad m$ $V1 = (0.36 \times 0.30 - 0.24 \times 0.24)$ $\times 27.5 = 1.4 \quad m^3$			
		$U-240蓋 \quad L = 7.0 \quad m$ $V2 = 0.36 \times 0.06 \times 7.0 = 0.2 \quad m^3$			
		集水樹 $V3 = 0.8 \times 0.8 \times 0.6$ $- 0.6 \times 0.6 \times 0.5$ $= 0.2 \quad m^3$			
		$V = 1.4 + 0.2 + 0.2 = 1.8 \quad m^3$	m3	1.8	
Co殻運搬(有筋)	L=5.2km	$V = 1.80 \quad m^3$	m3	1.8	
		(有)渡辺産業 袖ヶ浦市神納1802-1 L=5.2kmに運搬)			
Co舗装殻処分	有筋	$W = 1.80 \times 2.50 = 4.5 \quad t$	t	4.5	
側溝清掃工					
既設側溝清掃	U250	$L = 32.0 \quad m$ $V = 0.25 \times 0.25 \times 32.0 = 2.0 \quad m^3$	m	32.0	
現場発生品運搬					
現場発生品運搬	Uリット 240 L=5.6km	$W = 14.0 \quad kg \times 21 \quad 枚 = 0.3 \quad t$ (木更津市資材倉庫 木更津市潮見1-1 L=5.6kmに運搬)	t	0.3	
交通管理工					
水替え工		$N = 1$ 式	式	1	
交通誘導警備員B		$N = 18$ 人	人	18	

施工条件明示表

工事名 R 8 側溝整備工事（市道 2 0 9 3 号線ほか）

工事箇所 木更津市岩根三丁目 1 0 番地先

工程関係	施工計画書に則り工程管理を実施し、工期を遵守すること。
用地関係	境界には十分留意して施工し、近接地主と協調を保ち、いたずらに摩擦を起こさないようにすること。
公害対策関係	砂塵、水質汚濁、騒音等の問題が生じた場合は早急に対処し、環境保全につとめること。 木更津市環境保全条例に基づき、木更津市環境政策課に特定建設作業の届出を作業開始 7 日前までに行うこと。
安全対策関係	標識類、防護柵等の安全施設については、現場条件に応じて設置し、夜間も安全に通行できるよう対策を行うこと。 工事の際は、交通誘導員を適切に配置し、人や住宅等に十分注意し作業すること。 建設工事公衆災害防止対策要綱のとおり安全対策を行うこと。
工事用道路関係	一般道および民地に損傷等を与えない様に十分注意すること。また、損傷等が生じた場合は、請負者の責において原形に復旧すること。
建設副産物関係	関係法令を遵守すること。
工事支障物件等	本工事箇所は水道、N T T、ガス等の地下埋設物がある場合があるので、施工の際は損傷等を与えない様に十分留意すること。また、工事施工上の支障物件となり移設等が必要な場合は協議すること。 架空線下で作業する際は、三角旗等を設置し損傷等を与えない様に十分留意すること。
その他	住民が出入りを行う際は、速やかに作業を中断すること。 工事着手前に消防署及びクリーンセンターと協議すること。

工 事 特 記 仕 様 書

第1章 総 則

第 1 条(適用)

この特記仕様書は、千葉県土木工事共通仕様書(令和7年10月改定)(以下、「共通仕様書」という。)という特記仕様書で、本工事の施工に適用する。

第 2 条(通則)

1. 本工事の受注者は、工事請負契約書、共通仕様書、設計書、本特記仕様書等および関係法規に基づいて施工しなければならない。
2. 受注者は、本工事の施工にあたり、常に監督員と連絡を密にし、工事内容に疑義を生じた場合には、速やかに報告しその都度監督員の指示を受けなければならない。

第 3 条(中間検査)

- ~~1. 本工事は、木更津市建設工事検査要領第3条第1号イに規定する中間検査の対象工事のため、下記の工種の完了後中間検査を実施する。~~

区 分	指定工種	項目・時期
道路	舗装	歩道舗装(路盤・表層)及び表面特殊舗装の施工出来形を合わせ、全体工事内容の1/3～1/2程度完了した時

第 4 条(設計変更)

設計変更等については、契約書第18条から第26条及び土木工事共通仕様書第1編共通編1-1-14から1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「建設工事請負契約に係る設計変更等ガイドライン令和4年4月」(木更津市)によることとする。

第 5 条(コリンスへの登録)

~~受注者は受注時又は変更時において工事請負代金額500万円以上の工事について、工事実績情報システム(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請しなければならない。~~

なお、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを直ちに監督者に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものである。

第 6 条(施工管理)

1. 本工事の施工にあたっては、千葉県県土整備部が定める千葉県土木工事施工管理基準及び規格値によるものとする。
2. 工事写真管理は、千葉県土木工事施工管理基準に記載する写真管理基準による。
3. 工事写真の用紙は、厚み0.15mm 程度とし、写真用・インクジェット用等を使用するものとする。

第 7 条(工事中の安全確保)

1. 工事の施工にあたっては、道路工事保安施設設置基準に基づき適切な交通管理を行うものとする。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議するものとする。
2. 工事実施期間中は、公道の出入口等に誘導員を配置させ安全確保に努めなければならない。
3. 工事期間中は、夜間における安全確保のため保安要員を巡回させ道路灯、バリケード等の保安施設の安全点検を行うものとする。
4. 工事の施工に際し、事前に地下埋設物の調査を行い埋設物がある場合は、その管理者と発注者と受注者が現地立会のうえ、当該物件の位置深さ等を確認し、保安対策について十分打ち合わせを行い、事故の発生を防止しなければならない。
5. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、監督員に報告するとともに、関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
6. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置について占用企業全体と発注者と受注者が立会い、管理者を明確にしなければならない。

第 8 条(工事現場管理)

受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

1. 過積載重量制限を越えて土砂等を積み込まず、また、積み込ませないこと。
2. さし柵装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また、積み込ませないこと。
3. 受注者は、ダンプトラックを使用する工事施工に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下法という。)の目的に鑑み、法第 12 条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体への加入者の使用を促進するよう配慮するものとする。
4. 受注者は、下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
5. 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。
6. 取引関係にあるダンプカー事業者が過積載を行い、または、さし柵装着車、不表示車を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

7. 建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたって、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
8. 不法・違法無線局(不法パーソナル無線)を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。
9. 以上のことにつき下請業者にも十分指導すること。

第 9 条(使用機械)

本工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する特定特殊自動車、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成3年10月8日建設省経機発第249号)、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用しなければならない。ただし、指定されていない建設機械を使用する場合は監督員と協議するものとする。

また、本工事においては騒音防止及び排気ガス対策を施した機械を使用するものとし、これによりがたい場合は監督員の承諾を得なければならない。

第 10 条(安全訓練等の実施)

本工事の施工に際し、現場に即した安全訓練等について工事着手後原則として作業全員の参加により月当たり半日以上の時間を割り当て、下記の項目から実施内容を選択し安全訓練等を実施するものとする。

1. 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育
2. 本工事内容等の周知徹底
3. 土木工事安全施工技術指針等の周知徹底
4. 本工事における安全対策訓練
5. 本工事現場で予想される事故対策
6. その他、安全訓練として必要な事項

第 11 条(安全訓練等に関する施工計画の作成)

施工に先立ち施工計画書に本工事の内容に応じた安全訓練等の具体的な計画を作成し、監督員に提出するものとする。

第 12 条(安全訓練等の実施状況報告)

安全訓練等の実施状況を報告するものとする。

第 13 条(環境対策)

受注者は、千葉県が運用している環境マネジメントシステムの構成要素をなす「公共事業

における環境影響の低減」を推進し達成するため施工計画の環境対策内に独立した項目として「環境に配慮した工事の実施計画」について記載するものとする。

第 14 条(工期及び作業時間帯)

1. ~~本工事は、週休2日制適用工事である。~~
2. ~~週休2日制の実施にあたっては、「千葉県週休2日制適用工事実施要領(令和7年10月)版」に記載された方法に基づき行うこと。~~
3. ~~受注者は、現場閉所による週休2日工事として取り組むこと。なお、予定価格には月単位の週休2日(4週8休以上)達成相当の経費を補正している。~~
4. ~~昼夜間連続作業を行う工事等、現場閉所を行うことが明らかに困難な工事と認められる場合は、受発注者間で協議し週休2日交代制工事に変更することができる。~~
5. 工期は、雨天・休日等を見込み、令和9年2月19日までとする。
・工期には、施工に必要な実日数(実働日数)以外に以下の事項を見込んでいる。

準備期間	40日間
後片付け期間	20日間
雨休率 ※休日と天候等による作業不能日を見込むための係数 $\text{雨休率} = (\text{休日数} + \text{天候等による作業不能日}) / \text{実働日数}$	0.78
その他の作業不能日 地元の催事など混雑や交通規制等を含むもの	—

- ・天候等による作業不能日は以下を見込んでいる。
 - イ)1日の降雨・降雪量が10mm/日以上の日:42日間／年間
 - ロ)8時から 17 時までの WBGT 値が 31 以上の時間を足し合わせた日数:5日間／年間
(少数第1位を四捨五入(整数止め)し、日数換算した日数)
 - (過去5か年(2021 年 1 月～2025 年 12 月)の気象庁(千葉特別地域観測所)及び環境省(千葉特別地域観測所)のデータより年間の平均発生日数を算出)

6. 著しい悪天候や気象状況より「天候等による作業不能日」が工程(官積算)で 見込んでいる日数から著しく乖離し、かつ、作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

なお、休日等には、日曜日・祝日・その他作業期間内の全土曜日を含んでおり、本工事において、交通規制を伴う工事の時間帯については9時から17時とする。

また、関係機関との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

第 15 条(電子納品)

1. 本工事の成果品は電子納品とすることができる。電子納品とは、「調査、設計、工事な

どの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「工事完成図書の電子納品要領(令和5年3月):(以下、「要領」という。)」に基づいて作成した電子データを指す。

2. 成果品は、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で正副2部提出する。「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。なお、電子納品の運用にあたっては、「電子納品運用ガイドライン【土木工事編】(令和5年3月)」を参考にするものとする。
3. 成果品の提出の際には、電子納品チェックシステムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

第16条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第2章 建設副産物

第17条(共通事項)

1. コブリス・プラスの登録対象工事については、当該工事に関する必要な情報を登録し、監督員へ書類の提出をすること。

なお、「建設副産物情報交換システム」と明示されているものについては、当面の間「コブリス・プラス」に読み替えるものとする。

「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。

また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を作成し、「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」と合わせて提出するとともに、これからの記録を工事完成後一年間保存しておくこと。

○作成対象工事

請負金額100万円以上のすべての工事について建設資材利用、建設副産物の発生・排出の量の大小及び有無にかかわらず作成する。

2. 建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」を作成し監督員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。
3. 建設廃棄物の処理を委託する場合は、運搬あるいは処理について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。
4. 建設副産物の処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督員に2部提出するとともに、実際に要した処理費等(受入伝票、写真等)を証明する資料を監督員

に提出し確認を受けること。

5. 建設廃棄物の処理にあたっては、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式の場合は、複写式伝票のD票及びE票の写しを提出すること。

また、電子マニフェスト方式による場合は、建設廃棄物引き渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録した情報をパソコンにより印刷し提出すること。

第 18 条(建設発生土)

1. 本工事により発生する建設発生土は、(株)KCM(袖ヶ浦市川原井字南用瀬 286 番他)(片道距離 15.8km)に運搬する。

第 19 条(建設廃棄物)

1. 本工事により発生する As 殻及び Co 殻(有筋)は、(有)渡辺産業(袖ヶ浦市神納字大川端 1802-1)(片道距離 5.2 km)に運搬し、処理するものとする。
2. 本工事により発生するアスファルト舗装版等切断濁水は、(株)ダイキ(袖ヶ浦市南袖23番地8)(片道距離 6.3 km)に運搬し、処理するものとする。
3. 運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督員に報告するものとする。工事発注後、事情により上記の指定処理により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

第3章 建設リサイクル法

第 20 条(特定建設資材の分別解体等・再資源化等の適正な措置)

1. 本工事が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)。以下「建設リサイクル法」という」に基づく対象建設工事である場合は、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

なお、建設工事請負約款の「解体工事に要する費用等」については、契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が条件明示した事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、予定した条件により難しい場合は、協議するものとする。

2. 受注者は特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告するものとする。

・再資源化等が完了した年月日

・再資源化等した施設の名称及び所在地

・再資源化等に要した費用

なお、書面に添付する資料は「建設リサイクルガイドラインに定めた様式1[再生資源利用計画書(実施書)]及び様式2[再生資源利用促進計画書(実施書)]を使用するものとする。

第 21条(請け負おうとする建設業者からの事前説明に関する事項)

1. 建設リサイクル法第12条で、対象建設工事を請け負おうとする建設業を営む者は、発注者に対し対象建設工事の届出に関する事項に記載した書面(説明書)を提出し説明を行うこととする。
2. 書面の提出は、契約に先立って行うこととする。
3. 書面は施工計画書に添付するものとする。

第4章 材 料、品質管理、出来形管理

第22条(使用材料)

本工事に使用するアスファルト合材は溶融スラグ入りを使用すること。

第 23条(確認)

工事に使用する材料は、品質を証明する資料(品質証明書、成績表)を提出しなければならない。

第 24条(品質管理)

品質検査は、照合による検査(品質外観、品質規格証明等照合して判定することをいう)を原則とする。

工事材料について資料の提出、検査を前提に定めたが、JIS規格外等でこれによりがたい場合は、試験方法及び監督員の立会承諾等の有無など他の方法を明記した資料を提出すること。

第 25条(出来形管理)

~~共通仕様書の出来形管理基準に基づくアスファルト舗装工(表層工)において、コア採取及び平坦性試験は舗装施工面積が200m²を超える場合に適用する。~~